

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・食品売場の改装オープンにより、全館で10%来客数が増加した。その相乗効果で、紳士服売場においても客の購買意欲が高まり、夏服が売れている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・営業時間延長に伴い、販売数、売上は前年に比べ良くなっている。総合的な効果も、だんだんと良い傾向にある。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・個人旅行は依然として低調に推移しているが、団体旅行は、企業の招待旅行、社員の親睦旅行、退職者によるOB会旅行、町会議員や町職員の視察研修旅行など、少し忙しいぐらいの申込があった。
	変わらない	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・優待割引のある中元の早期受注を6月末まで実施した。客は価格に非常に敏感で、商品を少しでも安く買おうと、前倒しの傾向がかなり鮮明である。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月と比較して、来客数は微増となったが、客単価、売上は若干減で推移した。宝飾品、ビッグブランド品は売上に貢献したが、美術品、呉服、婦人靴、ファッションパーツは前年を下回り、結果的には平準であった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客はあっても買上点数が増加しない。今年は雨の日が多く、昨年この時期によく売れたアイスクリームなどの売行きが悪い。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・6月の既存店への来客数は、前年比0.8ポイント、3か月前比2.9ポイントと良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・若者向け商品は、流行の商品が少ない関係で、やや低調であるが、家族連れ客の単価は上昇し、販売量もやや増加傾向にあり、将来に期待が持てる。
		乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・人気の高いメーカーの車を販売しており、シェアも高いが、他販売店の商品力の強化により、当社の販売台数は抑えられている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・毎週、土・日にウィークエンドフェアを開催し、来客数は増加しているが、内訳は点検等のサービス部への客が多く、新車の商談件数は前年を下回っており、受注台数も前年並みである。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローンを組む時、将来に不安を感じてボーナス返済を組み入れない客が増えている。
	やや悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店への販売が悪い上、来客数も非常に少なく、販売量全体は低調である。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・競合する書店が2店閉店したので、売上は増加すると予想していた。しかし、見慣れない客は増加したが、売上は前年を下回ったままである。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・婦人服、紳士服など衣料品関係は2、3か月低迷している。その中でも、医療費の個人負担増の影響から、高齢者向けの動きがかなり鈍くなっている。
		スーパー（統括担当）	来客数の動き	・4月頃まで前年対比98%程度で推移していた来客数は、6月は94%と大きく落ち込んだ。
		コンビニ（代表者）	競争相手の様子	・競合店のオープンにより、売上はすべての商品で減少した。特に弁当は約10%の減少となった。また今年は昨年と比較して、天候が悪く、客の出足が悪い。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・購入態度が非常に慎重になっている。特に高級品は、時間をかけて購入している。また、単品買いの傾向が非常に強くなっている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数に変化はないが、単価の減少が大きく足を引っ張っている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・県内の大手建設会社の倒産により、来客数、売上に影響が出てきている。
都市型ホテル（経営者）		来客数の動き	・SARSの影響で宿泊利用人員が減っていることに加え、1人当たりの利用単価も減少が続いている。	
タクシー運転手		お客様の様子	・客との会話で、「ボーナス、給料のカット」や、中には「ボーナスが出ない」という声が多くなっている。その影響で、夜、飲食街に出ている客も減少している。	

	悪く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・いろいろなどころで同じような商品が販売されているため、売場は飽和状態にある。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品が、新しい問屋に少しずつ受け入れられており、受注量が増加してきた。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・排出ガス規制に伴う特殊車の更新は関東だけでなく、名古屋にも動きが出てきた。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・トラック搭載型の小型クレーンは、首都圏での排ガス規制による買い替え需要に伴って、受注増加が続いている。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・省力化機器を中心に問い合わせ、見積、受注は、前期に比べて増加した。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売段階での競争激化の影響から、単価、発注量は非常に厳しくなっている。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・ナフサの高騰により、原料メーカーから強硬な値上げが実施されている。しかし、市況悪化のために価格転嫁ができず、更に製品価格も値下げ傾向にあり、採算性は極度に悪化している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・先月、資金繰り難で取引先が連鎖倒産をした。SARSの問題は解決したとはいえ、取引ベースでは商談等が遅れている。したがって、景気は横ばい、低迷状態である。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・1年前にビル用地として売り出された高額物件は、3割強も価格が下落しているが、現在も「契約できた」との話は聞いていない。
	やや悪く なっている	食料品製造業（従業員）	それ以外	・中国から輸入している畜肉関係が輸入解禁になっておらず、ダメージを受けている。
建設業（総務担当）		競争相手の様子	・比較的順調であった都市型マンションが在庫過剰になっており、一部に売れ残りが出ている。	
雇用 関連	悪く なっている	-	-	-
	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、建設業、製造業において、前年同月比で減少するなど、依然厳しい状況で推移している。一方、IT関連企業（情報サービス業）では、大量求人が見られる。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は、やや増加傾向にあるが、資格、経験等の条件がついており、採用に至るまでは非常に厳しい状況である。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数の減少と給与水準の低下が見受けられる。
	やや悪く なっている	学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・来年度の新卒者の採用状況は、全体として動きが鈍く、なかなか進展していない。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣契約や更に安価なパート雇用に移行している。
悪く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人数では、5か月ぶりに対前年同月比で増加したが、タクシー運転手の大量求人が要因であり、卸・小売業では1割減が続くなど、厳しい状況が続いている。	